

今年度中に引継ぎの仕方や年度始めの活用について検討を!

引き継がれたキャリアパスをどう活用しますか!

「おかやまキャリア・パスポート」の学年・校種間の引継ぎは、次のようになっています。

- (1) 学年間の引継ぎは、教師間で確実に行う。
- (2) 校種間の引継ぎは、原則、児童生徒を通じて行う。
- (3) 中学校から高等学校への引継ぎなど、学校設置者が異なる学校への引継ぎは特に配慮する。
- (4) 中学校卒業後、校種間の引継ぎがない場合、確実に本人に返却すること。

【令和3年2月26日付「事務連絡」より】

このことを受けて、次のことについて各学校や中学校区において十分ご検討下さい。確実な引継ぎと年度当初の有効な活用によりキャリア教育の推進・充実が図られますよう、適切なお対応をお願いします。

こんなことを検討しておきましょう!

- ① 学年末にキャリアパスをどのように書かせるか。(これまでのポートフォリオの活用)
- ② キャリパスをどのようにファイルし、どうやって次学年へ引き継ぐか。
- ③ 卒業生にどのように持たせて、中学校や高等学校等へ持っていくか。
指導要録の写し等と同封する場合は、児童や保護者、中学校へどう周知するか。
- ④ 新学年スタートでキャリアパスをどのように活用してキャリア教育を推進していくか。
- ⑤ 中学校1年生では、小学校のキャリアパスをどのように活用するか。
- ⑥ 来年度のキャリア教育を推進する中で、ポートフォリオをどのように行うか。
- ⑦ 中学校1年生では、特に紛失した生徒への対応をどうするか。

「これまで」と
「今」を、
「これから」に
つなぐ!